



浜田まさとし通信

発行所：公明党川崎市議団 発行人：浜田まさとし 川崎区小田7-2-1-214 電話333-4512 Fax355-5192
HPアドレス <http://www.m-hamada.com> 印刷所：光明印刷 川崎市幸区塚越4-345

東京オリンピックめざしキレイで働きやすい川崎へ!

私自身も委員をつとめた議会改革協議会の議論により、今まで以上にきめ細かく審議するため、決算委員会に分科会方式が導入されました。私は、9月22日と26日の環境分科会で質問に立ちました。



ごみ集積所をキレイに!

川崎市は、平成25年9月から普通ごみの収集回数を週3回から週2回に変更。それに伴い、ごみ集積所をキレイにするためのネットや折りたたみ式ボックスなどが、市の負担で設置されました。しかし、折りたたみ式ボックスの設置が少なかったことから、広報不足ではないかと指摘しました。

担当の環境局は、「市内4万2千か所のごみ集積所の52%に対して、ネット1万9千枚、折りたたみ式ボックス320個などを設置しましたが、結果として予算の20%しか使われませんでした。ご指摘を踏まえ、今後ごみ集積所の環境整備を推進してまいります」と答えました。

日本一暮らしやすい川崎へ!

さらに、地球温暖化対策について、住宅の屋根や壁に塗ることで室内温度を下げる効果がある「遮熱性塗装(しゃねつせいとそう)」についても、市の補助金の対象に含めようと質問。

また、上下水道の人口普及率を100%にするように、市の取り組み強化を求めるとともに、市内の上下水道関係の会社が国際ビジネスに進出することを後押しする「かわさき水ビジネスネットワーク」についても、市の取り組み強化と積極的な広報を求めました。

市営・民営バス共通の一日券を!

平成24年10月から障害者外出支援事業が変わり、市営バスと民営バスの共通フリーパスが支給されるようになりました。これを機に、高齢化で需要が高まるバスのサービス向上と、東京オリンピックへ向けた市内観光対策のため、市営バスと民営バスの共通一日乗車券をつくろう、と主張しました。

担当の交通局は、「障害者の共通フリーパスは、走行距離などに基づき、市営バス42%、民営バス58%という割合で事業費を配分しました。共通の一日乗車券については、引き続き研究してまいります」と約束しました。

議会質問で一步前進!

市内企業への融資制度が充実!

昨年12月の議会質問が実り、本年4月から市内中小企業向けの「小規模事業資金(小口サポート型)」という融資制度がスタート。

これは、融資限度額1,000万円で、利率は年1.4%以内、返済期間は5年以内(据え置き期間1年以内を含む)。利用者の負担軽減のため、川崎市信用保証協会の保証料を川崎市が一部助成しており、助成後の信用保証料率は年0.225%~0.950%です。

問合せ先は、川崎市役所・金融課(電話：044-544-1846・1847)。

皆さんの声の実現しました!



設置前

不法投棄のひどいところの防カ
止つたため、口の
ックを設置



設置後

浮島町



浅田2丁目

雨水が流れにくかった集水口の周辺を整備



綱管通2丁目

雨どいからの流れが良くなかった下水管を修理



浅田4丁目

出入口の安全のため歩道の樹木をせん定

お知らせ

生ごみ処理機に助成金

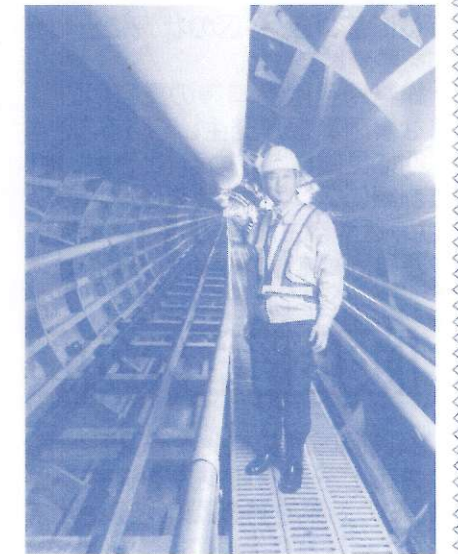
川崎市では、家庭からの生ごみを減らしてリサイクルを進めるため、生ごみコンポスト化容器などの購入費の半額(上限2万円)を助成しています。



助成の対象となる機種は、コンポスト化容器、密閉容器、乾燥式電動生ごみ処理機、バイオ式電動生ごみ処理機の4つで、申請には領収書の原本(購入者の氏名と処理機の品名が記入されたもの)、設置状況のわかる写真・配置図などが必要です。

問合せ先：川崎市役所 環境局 減量推進課
(電話：044-200-2605)

視察報告



大雨対策として建設中の雨水貯留管(うすいちよりゅうかん)を視察しました。